

4月22日に中学3年生を対象に実施された、「全国学力・学習状況調査」の結果とその分析から見えてきた栗野中学校生徒の特徴と課題についてお知らせします。これらの結果をもとに、学校全体で指導法改善に取り組み、学力のさらなる向上を目指していきますので、ご家庭の方でもご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、本調査によって測定できるのは、生徒たちの学校における教育活動の一側面です。序列化や過度な競争が生じないようにするため、教育上の効果や影響等に配慮して記載いたします。

※敦賀市ホームページに公表された市の結果分析等も併せてご覧ください。

教科に関する結果から

『国語』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○文脈に沿った漢字の読み書きや、適切な慣用句、敬語、主語をとらえる力など、言語的事項の定着率が高い。また、目的に応じて資料を効果的に選ぶなど、話すための基礎的な力もある。漢字テストに熱心に取り組んでいる成果だと考えられる。</p> <p>○指導したことや範囲が限定されているテストについては、懸命に努力し吸収しようとする。素直で真面目な生徒の個性が、学習面に生かされている。</p> <p>※本校生徒の長所であり、今後も生徒の興味関心を高める教材開発に取り組み、さらに伸ばしていきたい。</p>	<p>○既習事項にない漢字の組み合わせによる読み書きや、抽象的な概念を表す語句が示す内容を理解することなど、応用的な思考を必要とする問題の正答率が低い。これは、読書による学習効果に気づいていない生徒が多いこと、全く本を読まない生徒が過半数いることが1つの原因であると思われる。→ 読書の楽しさや意義を、自然に感じさせていくことが課題である。</p> <p>○「資料から必要な情報をとらえて書く」ことが苦手な生徒が多い。→ 新聞等の文字情報や図・表・グラフを読み解く活動を取り入れていきたい。</p>

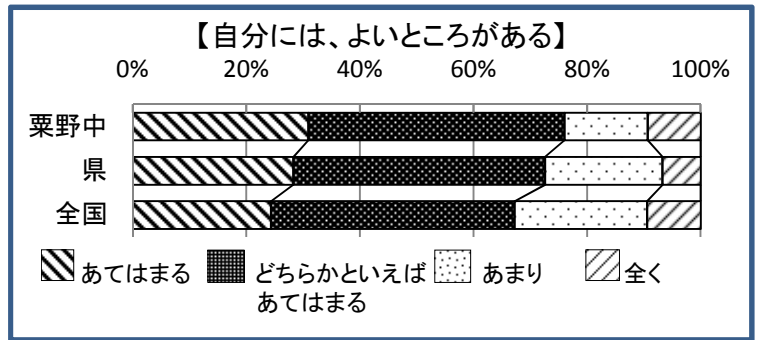
『数学』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○計算については、多くの設問で大変よい結果が見られ、市で進めている計算コンテストの取組が着実に結果として表れている。</p> <p>○計算分野は得意だと感じている生徒が多い。</p> <p>※反面、関数や統計に自信を持ってない生徒が多いため、関数や統計の中でも、計算力を生かして達成感を得られる授業の手立てを工夫して、得意分野を活かしていけるようにしたい。特に一次関数や確率では、計算力が問われる場面が多いため、苦手意識がなくなるまで繰り返し、学習を進めていきたい。</p>	<p>○文章を読み、正しいものを選び、「その理由を説明する」といった記述問題の正答率、無答率が課題である。→ 書くことについて、常に授業でも意識していく必要がある。</p> <p>○一般的な解法(教科書の例題等で紹介される解き方)とは異なるアプローチの問題に弱く、分野に関係なく、多様性に欠ける。</p> <p>→ 他者との学びあいの中で、生徒一人ひとりが自分とは異なる考え方についても耳を傾ける姿勢を大切する授業構成を行い、様々な方向から課題に向き合う習慣を育てていきたい。</p>

生徒質問紙の結果から

1 『自己肯定感・有用感・成功体験』について

- 94%の生徒が、「ものごとを最後までやり遂げて嬉しかった」という成功体験を持っている。
- 「自分には、よいところがある」と、自己肯定している割合も高い。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問にも、80%近くの生徒が肯定的に回答していることから、全体的に、生きることには前向きな姿勢を持っていることは、素晴らしい。



2 『家庭での生活状況』について

- 全体的には、県よりも全国に近い割合となっている。右の表の値を見ても分かるように、それぞれに3時間以上の生徒が予想以上に存在する。重複している生徒はいるとはいうものの、Max60%の生徒が、1日あたり3時間以上をこれらに費やしているとなると、放置しておくわけにはいかない。また、携帯・スマホに1時間以上を費やす生徒が60%存在することも明確になった。

(時間)	4以上	4~3	3~2	2~1	1未満	全く
TV・DVD	14.2%	13.2%	29.9%	29.4%	12.7%	0.0%
ゲーム	7.8%	10.8%	13.7%	20.6%	30.4%	16.2%
メール等	8.3%	9.3%	17.2%	21.1%	18.7%	25.5%

3 『家庭学習・読書への取組』について

- 月～金までの家庭学習の時間は少ない。また、毎日1時間に満たない生徒が35%存在することも問題である。市の「すこやか敦賀っ子家庭学習ガイド」で示している、1日150分以上の家庭学習時間確保のための内容・方法の工夫を図りたい。
- (県全体を眺めても、読書時間は少ないのが実態だが)過半数以上の生徒が「全く読書をしな」という実態に驚かされる。幼稚園時や小学校での読書習慣の構築が鍵である。市・地域全体で取り組む必要性を感じている。

(時間)	3以上	3~2	2~1	1~30分	30分未満	全く
家庭学習	2.0%	20.1%	41.7%	30.9%	4.4%	1.0%

(時間)	2以上	2~1	1~30分	30~10	10分未満	全く
読書	3.4%	2.9%	12.7%	15.2%	10.3%	55.4%

4 『学校生活』について

- 学習すること、部活動等、楽しさにもいろいろあるのだと思う。できるならば、集団の中で生きていく楽しさに繋がって欲しい。
- 教師と生徒たちとの信頼関係に関わるものが高いことが大変嬉しい。さらに、「生徒のよいところを認められる学校風土を育てていきたい。
- グラフはないが、「学校の規則を守っていますか」という質問への肯定率はかなり高く、決まりに対して高い意識を持っている生徒が多いことを物語っている。生徒自らの問題意識と主体的な取組を大切にしていきたい。

